

日本宗教学会

第 81 回学術大会

会期：2022 年 9 月 9 日(金)～11 日(日)

9 日：対面・オンライン 10 日・11 日：オンライン

主催：日本宗教学会第 81 回学術大会実行委員会（愛知学院大学）

オンラインの各会場に参加するためのアクセス情報は、大会への参加登録をすべて完了された会員に対して、大会実行委員会が、9 月第 1 週に、メールで連絡いたします。

「お知らせ」と「お願い」

1. **理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。**
プログラムと同一にしてください。
2. **発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
 - ・個人発表 発表 15 分、質問 5 分、計 20 分
 - ・パネル発表 「発表者数×5 分」を質疑応答の時間として確保ください。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
3. 個人発表では、各発表の間に 5 分間の準備・移動時間を設けております。この 5 分間を議論の延長などに使うことのないようお願いします。
4. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表していただきます。
5. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
6. **『宗教研究』別冊用要旨について**
13 頁「『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意」に従って作成し、9 月 16 日（金）までに、編集委員会に送信してください。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、編集委員会に送信してください。

【9 月 9 日に、愛知学院大学 名城公園キャンパスに来場される会員へ】

1. キャッスルホール 1 階の入り口近くの受付にて、記名をお願いいたします。
2. キャッスルホール 1 階の 1104 が、会員控室になります。
3. キャッスルホール内においては、無線 LAN のサービスは提供されていません。
4. 最終頁に会場の案内図があります。

大会日程

9月9日(金)	男女共同参画・若手研究者 支援ワーキンググループ ワークショップ	オンライン	ミーティング会場	11:00-12:00
	開会式		キャッスルホール1階・ホール「明倫」	13:00-13:10
	公開シンポジウム		キャッスルホール1階・ホール「明倫」	13:10-17:30
	交流会		キャッスルホール1階・1104	18:00-19:00
9月10日(土)	研究発表(個人)	オンライン	各ミーティング会場	9:00-14:35
	研究発表(パネル)	オンライン	各ミーティング会場	15:00-17:00
	会員総会	オンライン	ミーティング会場	17:15-19:15
9月11日(日)	研究発表(個人)	オンライン	各ミーティング会場	9:00-14:35
	研究発表(パネル)	オンライン	各ミーティング会場	15:00-17:00

*男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループワークショップについて

テーマ：男女共同参画と若手支援のこれから——本学会会員アンケート調査から考える

趣旨

本ワークショップでは、昨年に会員を対象に実施した男女共同参画に関する調査の結果をもとにして、本学会の男女共同参画と若手支援のこれからについて意見交換を行うことを目的とします。とくに若手研究者の皆様の参加を歓迎します。

報告者：猪瀬 優理（龍谷大学）

コメンテータ：小島 優子（日本哲学会理事、日本学術会議連携会員、人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(GEAHSS)幹事）

司会：高橋 典史（東洋大学）

ミーティング会場の URL は、大会への参加登録をすべて完了された会員に対して、大会実行委員会が、9月第1週に、メールで連絡いたします。

キャッスルホール内に無線 LAN のサービスは提供されていませんが、愛知学院大学に来場されている会員には会場に設置されたスクリーンで、オンラインの画面をみて参加していただけます。

*公開シンポジウムについて

対面とオンラインを併用します。

シンポジウムの内容は、録画し、2週間ほど YouTube にて会員に限定公開する予定です。

変更があれば、大会HP「大会実行委員会特設サイト」にてお知らせしますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

*交流会について

8月初旬に開設される大会HP「大会実行委員会特設サイト」に詳細を掲載します。

公開シンポジウム

宗教学の軌跡と展望—どこから来て、どこへ行くのか—

趣旨

人文学のなかで哲学系の分野としての由来をもちながらも、宗教学は社会学、人類学、民俗学、心理学などの経験科学の諸分野と交流をしながら展開してきたことは、よく知られています。宗教という対象によって規定された分野であるゆえに、宗教学が隣接学から理論や分析方法を学んできたことは自然なことでした。

この公開シンポジウムは、1970年代以降の宗教学の軌跡を振り返り、それがどのように現在にいたって、さらに未来を展望するのかを、ラウンドテーブルのかたちで議論しようとするものです。宗教学が他の学術の成果を積極的に摂取したことはたびたび語られてきましたが、どのような役割を演じ、貢献してきたかは語られることは少なかったように思われます。人文学において宗教学が果たしてきた役割と貢献を積極的に再評価する試みでもあります。

公開シンポジウムは、第1部と第2部に分かれています。第1部では70年代以降の20世紀の宗教学の軌跡を振り返り、人類学、宗教社会学、新宗教、世俗化などのテーマをとりあげます。第2部では90年代から21世紀にかけて展開したテーマであるグローバル化、ジェンダー、スピリチュアリティ、公共圏などをとりあげます。第1部で20世紀を振り返り、第2部では21世紀における現在から未来を展望したいと考えています。

日時 2022年9月9日（金）13:10-17:30（開会式 13:00-13:10）

会場 愛知学院大学 名城公園キャンパス キャッスルホール1階・ホール「明倫」

次第	13:10-13:20	趣旨説明	林 淳（愛知学院大学教授）
	13:20-14:40	第1部	小松 和彦（国際日本文化研究センター名誉教授） 島菌 進（大正大学客員教授） 林 淳（愛知学院大学教授）
	14:40-15:00	休憩	
	15:00-16:30	第2部	伊藤 雅之（愛知学院大学教授） 大谷 栄一（佛教大学教授） 小林奈央子（愛知学院大学教授） 伊達 聖伸（東京大学教授）
	16:30-16:50	休憩	
	16:50-17:30	質疑	

*** オンライン参加者からの質問は、14時40分から16時50分までチャットで受け付けます。**

登壇者紹介

小松 和彦／こまつ かずひこ（国際日本文化研究センター名誉教授）

1947年生まれ。東京都立大学大学院博士課程修了。『憑霊信仰論』（講談社、1994年）、『異人論』（筑摩書房、1995年）、『百鬼夜行絵巻の謎』（集英社、2008年）、『いざなぎ流の研究』（角川学芸出版、2011年）、『妖怪学新考』（講談社、2015年）。

島蘭 進／しまどの すずむ（大正大学客員教授）

1948年生まれ。東京大学大学院博士課程・単位取得退学。『宗教学の名著30』（ちくま新書、2008年）、『ともに悲嘆を生きる』（朝日新聞出版、2019年）、『精神世界のゆくえ』（東京堂出版、1996年、法蔵館文庫版、2022年）など。

林 淳／はやし まこと（愛知学院大学教授）

1953年生まれ。東京大学大学院博士課程修了。博士（文学）。『近世陰陽道の研究』（吉川弘文館、2005年）、『日本史リブレット 天文方と陰陽道』（山川出版、2006年）、『新陰陽道叢書』全5巻（共編著、名著出版、2020-2021年）。

伊藤 雅之／いとう まさゆき（愛知学院大学教授）

1964年生まれ。ペンシルバニア大学大学院博士課程修了（Ph.D.）。『現代社会とスピリチュアリティ』（溪水社、2003年）、『スピリチュアリティの社会学』（共編著、世界思想社、2004年）、『現代スピリチュアリティ文化論 ヨーガ、マインドフルネスからポジティブ心理学まで』（明石書店、2021年）。

大谷 栄一／おおたに えいいち（佛教大学教授）

1968年生まれ。東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。『近代日本の日蓮主義運動』（法蔵館、2001年）、『近代仏教という視座』（ぺりかん社、2012年）、『近代日本宗教史』全6巻（共編著、春秋社、2020-2021年）。

小林奈央子／こばやし なおこ（愛知学院大学教授）

1973年生まれ。名古屋大学大学院博士課程修了。博士（文学）。『木曾御嶽信仰とアジアの憑霊文化』（共著、岩田書院、2012年）、『宗教とジェンダーのポリティクス』（共著、昭和堂、2016年）、Special Issue: Gendering Religious Practices in Japan, *JJRS* 44-1（共編著、南山宗教文化研究所、2017年）。

伊達 聖伸／だて きよのぶ（東京大学教授）

1975年生まれ。フランス国立リール第3大学大学院博士課程修了（Ph.D.）。『ライシテ、道徳、宗教学』（勁草書房、2010年）、『ライシテから読む現代フランス』（岩波新書、2018年）、『世俗の彼方のスピリチュアリティ』（共編著、東京大学出版会、2021年）。

meeting room 1

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|------------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 文化的記憶としての仏教表象 | 渡辺 隆明 (大正大) |
| 2. 9:25-9:45 | ビッグ・ゴッド仮説の構造と展開 | 藤井 修平 (東京家政大) |
| 3. 9:50-10:10 | デジタル宗教の諸相—キューバにおけるヨルバ系宗教を題材に— | 井上 大介 (創価大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教社会学・宗教心理学から認知宗教学への接続 | 井上 順孝 (國學院大) |
| 5. 10:55-11:15 | 19世紀の東欧におけるイエシヴァの概要—KelmとTelzを中心に— | 袁 浩春 (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | ペルシャ湾岸アラブ諸国におけるユダヤ教徒の活動展開と含意 | 高尾賢一郎 (中東調査会) |
| 7. 11:45-12:05 | ソロヴェイチク『ハラハーの人間』—現代ユダヤ教の哲学的探究— | 志田 雅宏 (東大) |
| 8. 12:10-12:30 | 中絶論争からみるアメリカのユダヤ教 | 石黒 安里 (同志社大) |
| 9. 13:00-13:20 | R. オットーにおける「宗教史」理解 | 藁科 智恵 (日大) |
| 10. 13:25-13:45 | 「セム的一神教」概念の再検討 | 奥山 倫明 (東洋英和女学院大) |
| 11. 13:50-14:10 | ウィルフレッド・C・スミスの聖典理解とその意味 | 澤井 義次 (天理大) |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし) | |

パネル 宗教史の中のIAHRと宗教現象学

代表者：藤原 聖子

- 15:00-17:00 IAHR ローマ大会におけるペッタッツォーニとヴァティカン
エリアーデにおけるIAHR創設とナショナリズムの問題
ハイラーにおけるIAHRと東西交流

江川 純一 (明治学院大)
奥山 史亮 (北海道科学大)
宮嶋 俊一 (北大)

コメンテータ：カチャ・トリプレット (ライプチヒ大)

司会：藤原 聖子 (東大)

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | ウィリアム・ジェイムズ、残余の思想から複数性の哲学へ | 堀 雅彦 (北星学園大) |
| 2. 9:25-9:45 | 神秘的経験の系譜学に向けて—新たな神秘主義理解のために— | 渡辺 優 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | リトアニアのネオペイガニズムを比較宗教学の視点から考える | 後藤 正英 (佐賀大) |
| 4. 10:15-10:35 | ラトゥールに心霊研究を語る | 津城 寛文 (筑波大) |
| 5. 10:55-11:15 | 17世紀レオネ・モデナ『盾と剣』における人文主義と宗教比較 | 李 美奈 (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | ラビ・リヒテンシュタイン—宗教シオニズムとアメリカ正統派— | 犬塚 悠太 (東大) |
| 7. 11:45-12:05 | ユダヤ・ルネサンスと決断主義 | 丸山 空大 (東京外国語大) |
| 8. 12:10-12:30 | 「生きられた古代宗教」の研究視点の意義 | 市川 裕 (東大) |
| 9. 13:00-13:20 | 金子白夢牧師におけるキリスト教と禪 | 菅原 研州 (愛知学院大) |
| 10. 13:25-13:45 | フランスにおける禪のハイブリッド化—弟子丸泰仙を中心に— | 輝元 泰文 (東大) |
| 11. 13:50-14:10 | 東西対話のために—『回勅 ラウダート・シ』を手引きとして— | 高橋 勝幸 |
| 12. 14:15-14:35 | 聖賢への道—宗教者の三類型に照らして— | 関 一敏 (九大) |

パネル 虚実性の宗教哲学—「宗教」概念の死後の生—

代表者：根無 一行

- 15:00-17:00 創作され破壊される神—宗教概念批判以後の偶像崇拜—
宗教における演劇性について
カント『純粹理性批判』における〈Glauben〉と〈pragmatisch〉
宗教体験を認め合うこと—私的言語論と言語ゲーム論の狭間で—

下田 和宣 (成城大)
山根 秀介 (舞鶴高専)
根無 一行 (大谷大)
古荘 匡義 (龍大)

コメンテータ・司会：樽田 勇樹 (京大)

meeting room 2

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|------------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | オリゲネスにおける夢の位置づけ | 津田 謙治 (京大) |
| 2. 9:25-9:45 | ホノリウス・A『雅歌講解』における花嫁について | 村上 寛 (上智大) |
| 3. 9:50-10:10 | ボナヴェントゥラの三位一体論におけるペルソナ間の秩序 | 平野和歌子 (龍大) |
| 4. 10:15-10:35 | クザーヌスにおける教会論の展開 | 島田 勝巳 (天理大) |
| 5. 10:55-11:15 | 近世イギリスの宗教史叙述と「宗教」観—religionの語をもとに— | 河底 佑佳 (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | キリスト教信仰と社会の架橋としての法とその理解 | 上原 潔 (大阪産業大) |
| 7. 11:45-12:05 | 20世紀フランス・カトリック世界における「結婚生活の霊性」 | 寺戸 淳子 (国際ファッション専門職大) |
| 8. 12:10-12:30 | 「ドイツ的キリスト者」運動史再考—個別宗教史叙述の再検討— | 久保田 浩 (明治学院大) |
| 9. 13:00-13:20 | キルケゴールにおける「ソクラテス的なもの」 | 谷塚 巖 (関西学院大) |
| 10. 13:25-13:45 | 宗教における救済と狂気—霊性の行方— | 中里 巧 (東洋大) |
| 11. 13:50-14:10 | ニーチェ研究—悦びの教えとしての永遠回帰— | 中路 正恒 (京都芸術大) |
| 12. 14:15-14:35 | 知識人宗教の運命—ナチ政権下のクラークス・クライス— | 深澤 英隆 (一橋大) |

パネル 吉永進—とは何者か?—その研究の軌跡を問う—

- 15:00-17:00 吉永進—の略歴と研究の特徴
吉永進—の神智学研究
吉永進—の霊学思想研究
吉永進—の民間精神療法研究
吉永進—の近代仏教研究

代表者: 岩田 文昭
岩田 文昭 (大阪教育大)
赤井 敏夫 (神戸学院大)
並木 英子 (国際基督教大)
栗田 英彦 (佛教大)
末木文美士 (国際日文研)
司会: 岩田 文昭 (大阪教育大)

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 統計的手法によるルネサンスの「人間の尊厳」思想の検討 | 比留間亮平 (東洋英和女学院大) |
| 2. 9:25-9:45 | プラトンに対する田辺元の解釈とその宗教思想としての特徴 | 土井 裕人 (筑波大) |
| 3. 9:50-10:10 | カントにおける理性的信仰の理性的不可能性 | 南 翔一郎 (南山大) |
| 4. 10:15-10:35 | 対話と神学—アンセルムスの場合— | 矢内 義顕 (早大) |
| 5. 10:55-11:15 | イブン・アラビーのアーヤーン・サービタ論再考 | 相樂 悠太 (日本学術振興会) |
| 6. 11:20-11:40 | アブー・フサイン・バスリーによるカラームの学批判について | 法貴 遊 (京大) |
| 7. 11:45-12:05 | 十二イマーム派、イスマール派、ザイド派のハディース観 | 平野 貴大 (日本学術振興会) |
| 8. 12:10-12:30 | トルコにおけるアレヴィー／アレヴィーリキの宗教／宗教性の検討 | 佐島 隆 (大阪国際大) |
| 9. 13:00-13:20 | クリスチャン・ローゼンクロイツとR. シュタイナー | シュルーター智子 (北大) |
| 10. 13:25-13:45 | マーサー教と根源悪 | 山城 貢司 (東大) |
| 11. 13:50-14:10 | 創造性の起源—精神分析理論におけるファンタジーと構想力— | 田口 博子 (白百合女子大) |
| 12. 14:15-14:35 | 明恵における夢と華嚴思想—精神分析的・宗教哲学的—考察— | 西村 則昭 (仁愛大) |

15:00-17:00 国際委員会企画パネル

Esotericism, Occultism, and Spiritual Therapies during the Long Twentieth Century: Theoretical Implications

What Is “Lived Religion” Made of? Rethinking “Religion” in Contemporary Shamanism
A Global Spiritual Business: Modern Mystery School
Orthodox but New, Secret but Popular: Reconsidering *Mikkyō*'s Boundaries in the 1970s
Neurosis and Mental Cultivation in the 1930s: Morita Therapy as *Seishin Shūyō*

Convener: Ioannis GAITANIDIS
MURAKAMI Aki (Komazawa Univ.)
Stephen CHRISTOPHER (Univ. of Copenhagen)
HAN Sang-yun (Tohoku Univ.)
Sarah TERRAIL-LORMEL (INALCO)
Commentator: Erica BAFELLI (Univ. of Manchester)
Chair: Ioannis GAITANIDIS (Chiba Univ.)

meeting room 3

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|---------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 古代エジプトの42柱の冥界の裁判官について | 肥後 時尚 (日本学術振興会) |
| 2. 9:25-9:45 | 古代エジプトとメソポタミアの神話にみられる社会福祉の比較 | 田澤 恵子 (古代オリエント博物館) |
| 3. 9:50-10:10 | 『ギルガメシュ叙事詩』の死生観と冥界観の特質 | 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |
| 4. 10:15-10:35 | メソポタミアのアーシプによる儀礼の唱えごと | 細田あや子 (新潟大) |
| 5. 10:55-11:15 | ダサーティール語彙の起源—中世インドのペルシア文化— | 青木 健 (静岡文化芸術大) |
| 6. 11:20-11:40 | Mahābhārata 12. 188-189 に見る瞑想実践 | 古泉 浩平 |
| 7. 11:45-12:05 | ミャンマー仏教徒の砂塔祭りについて | ティンマーウー (龍大) |
| 8. 12:10-12:30 | ケーララに伝わる王の灌頂儀礼 | 高島 淳 (東京外国語大) |
| 9. 13:00-13:20 | 吉見幸和の神と神罰論 | 城所 喬男 (東北大) |
| 10. 13:25-13:45 | 離島における近代神社関係史料—広島県豊田郡大崎上島町の事例— | 中道 豪一 (広島修道大) |
| 11. 13:50-14:10 | 吉田兼原による『神壇大義』の述作—事相解釈の変容をめぐる— | 新田 恵三 (皇學館大) |
| 12. 14:15-14:35 | 近世中期の神道史再考—神道の復古か復古神道か— | 松本 久史 (國學院大) |

パネル 近世近代における暦の流通と宗教文化

代表者：下村 育世

- | | | |
|-------------|--------------------------------|-------------|
| 15:00-17:00 | 大雑書にみる近世の暦注観—『簞篋内伝』との関わりを中心に— | 馬場真理子 (東大) |
| | 近世後期における三島暦師の頒暦—江戸暦問屋との比較を中心に— | 小田島梨乃 (東大) |
| | 奈良弘暦者・吉川家の近代—暦と神宮大麻との関わりに注目して— | 下村 育世 (一橋大) |
| | 近世の仏教暦と梵曆社中—僧侶の編暦・造暦・頒暦と近世社会— | 岡田 正彦 (天理大) |
- コメンテーター：中牧 弘允 (吹田市立博物館)
司会：岡田 正彦 (天理大)
-

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|----------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 人身供儀の再検討—古代地中海・オリエントでの事例を中心に— | 岩寄 大悟 (古代オリエント博物館) |
| 2. 9:25-9:45 | Jörg Rüpke, Pantheon のローマ史叙述について | 塩野谷恭輔 (東大) |
| 3. 9:50-10:10 | 古代地中海世界における宗教を巡る検討—日常生活を軸として— | 土居 由美 (神奈川大) |
| 4. 10:15-10:35 | 女神の神話学再考 | 松村 一男 (和光大) |
| 5. 10:55-11:15 | 日本中世の商人縁起における熊野と天竺 | 永井 隆之 (石川高専) |
| 6. 11:20-11:40 | 琉球の葬儀制における儒教化の諸相 | 牛窪 彩絢 (東大) |
| 7. 11:45-12:05 | 近世日本の儒教と葬送 | 松川 雅信 (立命館大) |
| 8. 12:10-12:30 | 孔子と菅神—近世日本における神儒の可換性— | 井上 智勝 (埼玉大) |
| 9. 13:00-13:20 | 近代日本の奇術師の生涯と宗教 | 伊藤 優 (東大) |
| 10. 13:25-13:45 | 『無憂華』と『散華抄』—九條武子と岡本かの子— | 小笠原亜矢里 (武蔵野大) |
| 11. 13:50-14:10 | ケルン東洋美術館の仏教美術の展示に見られる美術観 | 高澤 廣行 (筑波大) |
| 12. 14:15-14:35 | 津山事件における戦慄と宗教 | 斎藤 喬 (南山宗教文化研究所) |

パネル 陰陽師の虚像と実像

代表者：小池 淳一

- | | | |
|-------------|-----------------------|----------------|
| 15:00-17:00 | 日本古代の陰陽師の成立と変遷 | 細井 浩志 (活水女子大) |
| | 日本中世における官人陰陽師と非官人系陰陽師 | 赤澤 春彦 (摂南大) |
| | 「朝廷陰陽師」像の近世 | 梅田 千尋 (京都女子大) |
| | 「博士」とその周辺 | 小池 淳一 (国立歴史民俗) |
- コメンテーター：マティアス・ハイエク (高等研究実習院)
司会：小池 淳一 (国立歴史民俗)
-

meeting room 4

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|--|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 昭和初期キリスト教知識人におけるカトリックへの転向 | 保泉 空 (東北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 森本厚吉と教育 | 森上 優子 (文部科学省) |
| 3. 9:50-10:10 | 戦後日本伝道をめぐる日本基督教団の自主性、1945-47年 | 吉田 亮 (同志社大) |
| 4. 10:15-10:35 | 再臨運動における内村鑑三と祐之 | 黒川 知文 (中央学院大) |
| 5. 10:55-11:15 | 晩年の岸本英夫は戦後の政教分離をどう評価していたのか | 田中 浩喜 (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | 公的統計に見る明治期の宗教系学校—『府県学事年報』を中心に— | 高瀬 航平 (東大) |
| 7. 11:45-12:05 | 内務官僚時代の床次竹二郎の神社・宗教行政構想 | 西田 彰一 (国際日文研) |
| 8. 12:10-12:30 | 宗教学成立以前の「世界の諸宗教」像についての一考察 | 星野 靖二 (國學院大) |
| 9. 13:00-13:20 | 自葬解禁と旧潜伏キリシタンの信仰 | 内藤 幹生 |
| 10. 13:25-13:45 | 戦後日本における「葬制変容論」の再検討—類型化の試み— | 大場 あや (大正大) |
| 11. 13:50-14:10 | 戦前の日本文化紹介書における Religion と Ancestor Worship | 問芝 志保 (東北大) |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし) | |

-
- パネル 日印交流における仏教—日本の仏教者によるインド世界の探究— 代表者：外川 昌彦
- 15:00-16:40 日本人仏教者とインド 蓑輪 顕量 (東大)
- 明治インド留学の潮流—川上貞信、大宮孝潤他— 奥山 直司 (高野山大)
- 岡倉天心とインド知識人との仏教史観をめぐる対話 外川 昌彦 (東京外国語大)
- ブッダガヤを中心とする日系仏教団体の活動 別所 裕介 (駒大)
- 司会：外川 昌彦 (東京外国語大)
-

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|---------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20 | 天理外国語学校の朝鮮語教育にみる朝鮮布教の意義 | 金 賻城 (天理大) |
| 2. 9:25-9:45 | 新宗教の死者儀礼と現世主義—天理教を中心に— | 道蔦 汐里 (東京工業大) |
| 3. 9:50-10:10 | 天理教里親の宗教観・養育観・子ども観 | 青木 繁 (東京工業大) |
| 4. 10:15-10:35 | 『稿本天理教教祖伝逸話篇』に見る「赤衣」の表象 | 堀内みどり (天理大) |
| 5. 10:55-11:15 | 不二道の写本と参行六王 | 大谷 正幸 |
| 6. 11:20-11:40 | 日露戦争以後の久米邦武における神道・宗教観 | 木村悠之介 (東大) |
| 7. 11:45-12:05 | 星野学説排斥事件の本質—「天壤無窮の神勅」解釈に注目して— | 内堀 詔太 |
| 8. 12:10-12:30 | 教派神道にみる「道」の教え | 澤井 治郎 (天理大) |
| 9. 13:00-13:20 | 終末論的な救済観と戦時下の宗教運動—明石川順三の事例を中心に— | 山口 瑞穂 (佛教大) |
| 10. 13:25-13:45 | 近代日中宗教の「混淆」—道院と大本教提携の「教義的根拠」— | 玉置 文弥 (東京工業大) |
| 11. 13:50-14:10 | 島に渡る—明恵上人と大本教— | 山崎 好裕 (福岡大) |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし) | |

-
- パネル 井筒俊彦と東洋の思想家たち 代表者：澤井 真
- 15:00-17:00 井筒俊彦の東洋哲学における「禅と哲学」の問題 長岡 徹郎 (京大)
- 井筒俊彦の『老子』理解を分解する 古勝 隆一 (京大)
- 井筒俊彦とシャンカラ—マーヤー論と二真理説— 加藤 隆宏 (東大)
- 井筒俊彦とイブン・アラビー—アラビア語の『存在』概念— 澤井 真 (天理大)
- コメンテータ：鎌田 繁 (東大)
- 司会：澤井 真 (天理大)
-

meeting room 5

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20 | マハーカッサパの二種の女性観 | 備後 翠 (大阪大谷大) |
| 2. 9:25-9:45 | 諸律の比丘尼難度の研究—パーリ律を中心に— | ティッサーナンディー (龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 善友に関する一考察 | 筒井 奈々 (高野山大) |
| 4. 10:15-10:35 | 仏教サンガにおけるケアの持続性—摩訶僧祇律を中心に— | 日高 明 (相愛大) |
| 5. 10:55-11:15 | 存覚の善知識論と帰命戒 | 武宮 真如 (龍大) |
| 6. 11:20-11:40 | 存覚と蓮如 | 田中 了輔 (龍大) |
| 7. 11:45-12:05 | 蓮如の機法一体説について | 稲城 蓮恵 |
| 8. 12:10-12:30 | 曾我量深「日蓮論」における日蓮本仏思想 | 角田 佑一 (上智大) |
| 9. 13:00-13:20 | 戦前期仏教日曜学校機関誌の誌面変遷 | 松岡 悠和 (京都府立大) |
| 10. 13:25-13:45 | 真宗思想と教育勅語—近代の西本願寺僧侶と教育— | 山田 智敬 (龍大) |
| 11. 13:50-14:10 | 武内了温における真宗の児童教育 | 鈴木 朋子 (お茶の水女子大) |
| 12. 14:15-14:35 | 本願寺派における「主流派」の誕生—空華学派とその私塾経営— | 菊川 一道 (龍大) |

-
- パネル 人口減少社会における甲信越・東海・近畿地方の多宗派寺院調査** 代表者：相澤 秀生
- 15:00-17:00 概要報告
寺院の形態と檀信徒の動向
寺院の年中行事と教化活動の特徴
寺院における葬送儀礼の概況
寺院収入の実態
- 相澤 秀生 (跡見学園女子大)
中條 暁仁 (静岡大)
川又 俊則 (鈴鹿大)
磯部 美紀 (大谷大)
梶 龍輔 (駒大)
- 司会：相澤 秀生 (跡見学園女子大)
-

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | 『マニ・カンブン』における「六字真言成就儀軌王統流大注釈」 | 槇殿 伴子 (身延山大) |
| 2. 9:25-9:45 | 『章所知論』の一側面 | 阿部 真也 (大正大) |
| 3. 9:50-10:10 | 善導著作における懺悔についての一考察 | 眞田 慶慧 (龍大) |
| 4. 10:15-10:35 | 中国学としての中国禅宗史研究—京都大学を事例として— | 何 燕生 (郡山女子大) |
| 5. 10:55-11:15 | 法然における「起行認識の根拠の転換」と法然及び法然門下の教学 | 那須 一雄 |
| 6. 11:20-11:40 | 法然門下における『五会法事讃』の受容 | 山雄 優生 (大谷大) |
| 7. 11:45-12:05 | 「真仏土文類」『涅槃経』引文の一考察—「一闍提」に着目して— | 蟹谷 誓 (龍大) |
| 8. 12:10-12:30 | 明治初期琉球と真宗—「第三次真宗法難事件」を中心に— | 福島 栄寿 (大谷大) |
| 9. 13:00-13:20 | 『観心本尊抄』にみる「大慈悲」の一考察 | 清水 祥華 (立正大) |
| 10. 13:25-13:45 | 『立正安国論』第五段における典籍の引用をめぐって | 矢吹 康英 (立正大) |
| 11. 13:50-14:10 | 三大誓願と主師親三徳 | 桑名 法晃 (身延山大) |
| 12. 14:15-14:35 | 北条義時と日蓮—承久の乱を中心に— | 木村 中一 (身延山大) |

-
- パネル 寺院経営と護持の展望—布施・寄付・会費—** 代表者：深水 顕真
- 15:00-16:40 布施の構造—対価・贈与・喜捨—
お寺への遺贈寄付とソーシャル・キャピタルに関する実態調査
寺院の護持状況について—本願寺派宗勢基本調査の結果から—
変動期・変革期における寺院仏教の運営基盤
- 深水 顕真 (広島文教大)
松本 紹圭 (未来の住職塾)
長岡 岳澄 (中央仏教学院)
櫻井 義秀 (北大)
- 司会：櫻井 義秀 (北大)
-

meeting room 6

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 「以信代慧の人間論」構想と疑似科学問題 | 福頼 尚志 |
| 2. 9:25-9:45 | 「英雄日蓮」と修養一偉人崇拜としての宗祖像一 | 大澤 絢子 (日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10 | 近世日蓮聖人伝における富士山経ヶ岳埋経伝説の形成 | 長倉 信祐 (富士学林) |
| 4. 10:15-10:35 | 日蓮の北関東湯治伝承と破邪顕正記の関連 | 関戸 堯海 (立正大) |
| 5. 10:55-11:15 | 人新世の道元一 道元無情仏性論の射程一 | 辻口雄一郎 |
| 6. 11:20-11:40 | 福沢諭吉の宗教観・仏教観一曹洞宗教団への苦言一 | 工藤 英勝 (曹洞宗総合研究センター) |
| 7. 11:45-12:05 | 近世文学における「禅」の受容一『本朝酔菩提全伝』の一休像一 | 飯島 孝良 (花園大) |
| 8. 12:10-12:30 | 宗教共同体の周期的新生について一掛搭に関わる儀礼を中心に一 | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
| 9. 13:00-13:20 | 人工妊娠中絶を変革する「流産誘導剤」一Women on Web の実践一 | 淵上 恭子 (慶大) |
| 10. 13:25-13:45 | 現代日本における仏教的自殺防止活動 | 川本 佳苗 (日本学術振興会) |
| 11. 13:50-14:10 | 仏教における同性婚をめぐる諸問題 | 宇治 和貴 (筑紫女学園大) |
| 12. 14:15-14:35 | 近代日本における宮沢賢治の創作とジェンダー | 大澤千恵子 (東京学芸大) |

パネル 情報と生命一未来の宗教の役割を展望して一

代表者：沖永 宜司

15:00-17:00 人工知能と二つの文化

久木田水生 (名大)

不死と AI

沖永 宜司 (帝京大)

進化論と AI一最適化に対する宗教学的視座一

小原 克博 (同志社大)

バイオテクノロジーに見る全体論の可能性

林 研 (大阪経済法科大)

儀礼と科学技術

永原 順子 (阪大)

司会：沖永 宜司 (帝京大)

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 日本仏教史の創出と「信仰」一「日本仏教の特色」という語り方一 | 呉 佩遥 (東北大) |
| 2. 9:25-9:45 | 我が生存の意義一20世紀初頭における加藤岫堂の生命観一 | 山口 陽子 (東北大) |
| 3. 9:50-10:10 | 親鸞における臨終来迎のリアリティー作用性と蓋然性の観点から一 | 千賀 貴信 (大谷大) |
| 4. 10:15-10:35 | 近代日本における合掌観の変遷 | 武井 謙悟 (駒大) |
| 5. 10:55-11:15 | 阿弥陀仏との宿縁をめぐる解釈の展開一『往生拾因』を起点に一 | 松尾 善匠 (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | 近代の岩船山の天狗と戦争 | 林 京子 |
| 7. 11:45-12:05 | 橋本徹馬の科学論一『紫雲荘百話』を中心に一 | 郭 立東 (東大) |
| 8. 12:10-12:30 | 明治15年前後の仏堂と民間宗教者 | 石原 和 (南山宗教文化研究所) |
| 9. 13:00-13:20 | | |
| 10. 13:25-13:45 | (発表なし) | |
| 11. 13:50-14:10 | | |
| 12. 14:15-14:35 | | |

パネル 宗教における AI 等先端技術の社会実装とその課題

代表者：木村 武史

15:00-17:00 スピリット・テック研究の動向一瞑想誘導技術に焦点を当てて一

木村 武史 (筑波大)

仏教対話 AI「ブッダボット」の開発状況と今後の展望

熊谷 誠慈 (京大)

食品表示ラベルの画像認識によるハラール判定支援アプリの開発

石田 友梨 (岡山大)

立正佼成会の信仰活動と人工知能活用の境界領域

橋本 高志 (筑波大)

宗教に関わる AI 倫理の共有可能性

濱田 陽 (帝京大)

司会：木村 武史 (筑波大)

meeting room 7

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 現代イランにおける古典文学の検閲にみるイスラムと文学の関係 | 村山木乃実 (名古屋外国語大) |
| 2. 9:25-9:45 | 婚約撤回権にみるイスラーム法の自由意思について | 四戸 潤弥 (同志社大) |
| 3. 9:50-10:10 | 「靈感」が法律用語となったとき—消費者法関連の平成誌の分析— | ヤニス・ガイタニディス (千葉大) |
| 4. 10:15-10:35 | 北米先住民儀礼と修復的司法—スウェットロジを例にして— | 谷口 智子 (愛知県立大) |
| 5. 10:55-11:15 | 清少納言と某学会による僧侶への差別—被差別者としての聖職者— | 別府 良孝 |
| 6. 11:20-11:40 | アゼルバイジャンでの大学宗教教育—多文化主義入門教科書から— | 岩倉 洸 (京大) |
| 7. 11:45-12:05 | 「文化」か「事象」か、フランスの教育で揺れ動く宗教 | 白尾安紗美 (東大) |
| 8. 12:10-12:30 | 学校教科書における宗教の定義・説明 | 塚田 穂高 (上越教育大) |
| 9. 13:00-13:20 | 19世紀末ハーバード大学の礼拝改革—高等教育の世俗化と身体— | 木村 智 (ハーバード大) |
| 10. 13:25-13:45 | 「使命」に生きる人たち—精神世界と福音派— | 伊藤耕一郎 (関西大) |
| 11. 13:50-14:10 | 批判的人種理論に対するアメリカ宗教界の反応 | 佐藤 清子 (東大) |
| 12. 14:15-14:35 | 戦争と司牧—総主教キリルの説教をめぐって— | 近藤喜重郎 (東海大) |

パネル 宗教の公共性と〈公共宗教学〉をつなぐために

代表者：宮本要太郎

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------|
| 15:00-17:00 | 公共性へと架橋する信仰育成—天理教ひのきしんスクールを例に— | 金子 昭 (天理大) |
| | 宗教学と開発援助 | 村上 辰雄 (上智大) |
| | 「公共宗教学」は可能か | 平良 直 (倫理研究所) |
| | 宗教者の支援活動における寄り添いとつながり | 宮本要太郎 (関西大) |

コメンテーター：堀江 宗正 (東大)

司会：宮本要太郎 (関西大)

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | インドネシアにおけるカトリックの慈善事業の持続可能性と限界 | 岡光 信子 (中央大) |
| 2. 9:25-9:45 | 日本ハリストス正教会の〈死者の記憶〉の特徴 | 佐崎 愛 (東北大) |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教から国家へ—近代日本のハンセン病の救済— | 松岡 秀明 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | ACPE Standards and Manuals の精読と邦訳 | 葛西 賢太 (上智大) |
| 5. 10:55-11:15 | 媽祖信仰と疫病について | 張 凱 (龍大) |
| 6. 11:20-11:40 | 新型コロナウイルスと役僧 | ティム・グラフ (南山宗教文化研究所) |
| 7. 11:45-12:05 | 宗教空間・施設における疫病禍拝観動機構造—借間分析結果— | 神居 文彰 (平等院ミュージアム鳳翔館) |
| 8. 12:10-12:30 | コロナ禍における宗教行動の計量分析 | 横井 桃子 (愛知大) |
| 9. 13:00-13:20 | 散骨を選択する人びとの死生観 | 谷山 昌子 (東京工業大) |
| 10. 13:25-13:45 | 老いる人びとと多様な死者との関わり—南島を事例に— | 後藤 晴子 (大谷大) |
| 11. 13:50-14:10 | 終末期の意思決定—コロナ禍の人生会議に向けて— | 沖永 隆子 (帝京大) |
| 12. 14:15-14:35 | 死者の存在論と死者の関係論—死者倫理の成立可能性— | 佐藤 啓介 (上智大) |

パネル 震災伝承の宗教性—施設・担い手・行為・環境—

代表者：弓山 達也

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------------|
| 15:00-17:00 | 問題提起—震災伝承の宗教性— | 弓山 達也 (東京工業大) |
| | ホープツーリズムと宗教文化表象—福島県浜通りの震災伝承施設— | 小高 絢子 (東京工業大) |
| | 震災伝承の連続性と宗教者・市民の関与—南三陸を事例に— | 齋藤 知明 (大正大) |
| | 気仙三十三観音霊場における再興と伝承 | 君島 彩子 (日本学術振興会) |
| | インドネシア・アチェのスマトラ島沖地震の記念施設と震災遺構 | 福田 雄 (ノートルダム清心女子大) |

司会：弓山 達也 (東京工業大)

meeting room 8

9月10日(土)

- | | | |
|-----------------|---------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | 在日コリアン青年のキリスト教信仰とエスニシティ | 荻 翔一 (大谷大) |
| 2. 9:25-9:45 | 「民族の教会」をこえてー在日大韓基督教会における子ども食堂ー | 中西 尋子 (大阪公立大) |
| 3. 9:50-10:10 | 台湾における宗教青年会研究に向けた予備調査 | 郭 育仁 (鈴鹿大) |
| 4. 10:15-10:35 | 中東におけるインド系宗教の現状ーオマーンと UAE を中心にー | 山下 博司 (東北大) |
| 5. 10:55-11:15 | 土御門殿御菩提所資料を通じての考察 | 太田 俊明 |
| 6. 11:20-11:40 | 愛知県における妙見信仰ー内津地域を中心としてー | 竹内麻耶華 (名大) |
| 7. 11:45-12:05 | 沖縄の字誌・自治体史と風水の記述 | 鈴木 一馨 (鶴見大) |
| 8. 12:10-12:30 | (発表なし) | |
| 9. 13:00-13:20 | 過疎地神社の現況と課題ー仁淀川町の実態調査を通してー | 冬月 律 (道徳科学研究所) |
| 10. 13:25-13:45 | 地域福祉の推進と宗教社会学を中心とした研究関心の整理 | 板井 正斉 (皇學館大) |
| 11. 13:50-14:10 | 撤下社殿の宗教学的意味ー春日大社式年造替の事例ー | 岩井 洋 (帝塚山大) |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし) | |

-
- パネル 軍事占領の宗教学ー『占領改革と宗教』刊行とその現代的意義ー** 代表者：中野 毅
- | | | |
|-------------|------------------------------|------------------------|
| 15:00-17:00 | 米国アーカイブズの現状ー占領と宗教学研究ー | 岡崎 匡史 (日米アジア研究所) |
| | 行政権分離時代の奄美復帰運動ー奄美ルネッサンスと諸宗教ー | 田島 忠篤 (道徳科学研究所) |
| | 日本占領における英国の対日政策の独自性 | アネメッタ・フィスカールネルセン (創価大) |
| | 占領政策における人種主義と教化の思想 | 栗津 賢太 (上智大) |
| | 本書刊行の意義と宗教学的世界観闘争としての戦争について | 中野 毅 (創価大) |
- 司会：栗津 賢太 (上智大)
-

9月11日(日)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00-9:20 | 宿坊のクラウドファンディング考ー地域社会との関係に注目してー | 和栗 隆史 (大阪府立大) |
| 2. 9:25-9:45 | 日本における怪異譚と宗教的情報 | 古山 美佳 (國學院大) |
| 3. 9:50-10:10 | 物質文化から見るアニメ聖地巡礼 | ラディティヤ・ハリマワ・ヌラディ (九大) |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教的資源の維持活用についてー「刀剣乱舞」と神社の関係からー | 中山 千里 (皇學館大) |
| 5. 10:55-11:15 | 戦後日本の前衛美術における宗教概念 | 稲村めぐみ (東大) |
| 6. 11:20-11:40 | 拡散宗教論とファッションー衣装の世俗的宗教性の考察ー | 岸根 紗葵 (上智大) |
| 7. 11:45-12:05 | 伊藤計劃『ハーモニー』の死生観ー闘病者の小説分析の可能性ー | 横濱佑三子 (上智大) |
| 8. 12:10-12:30 | 小津映画における死者と記憶ー「死者の記憶」批判のためにー | 滝澤 克彦 (長崎大) |
| 9. 13:00-13:20 | 国家のシャーマンとしての奥村五百子ー研究史の死角をふまえてー | 山本 彩乃 (佛教大) |
| 10. 13:25-13:45 | 高橋智遍の新宗教批判 | 内村 琢也 |
| 11. 13:50-14:10 | 内棲型組織論とフォルク系新宗教ー法音寺と三徳ー | 寺田 喜朗 (大正大) |
| 12. 14:15-14:35 | (発表なし) | |

『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 大会HPの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』96巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力した要旨を9月16日（金）までに、メールの添付ファイルで送信し、
 - ② 提出原稿の書式が、規定にそっている方
- パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

① 締切日：9月16日（金）（受付開始：8月20日）

送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

(受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります)

② 提出原稿の書式 規定にそっていない場合は掲載できません

・日本語の要旨

縦書き 40字×40行以内（総文字数ではありません）

文字サイズ：10.5 日本語のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

・英語の要旨

横書き 650 words 以内

文字サイズ：10.5 フォント：Century（太字の使用は不可）

・日本語の要旨、英語の要旨共通

注記、参考文献一覧、付記は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

「入力ファイル」のページ設定の変更は不可。

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ず、ネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

・個人発表

日本語による発表者の要旨は日本語。

・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメントータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一すること。

・欧文タイトル

英語、独語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

9月16日（金）までに送信されなかった場合は、掲載不可となります。

いかなる事由であっても、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。

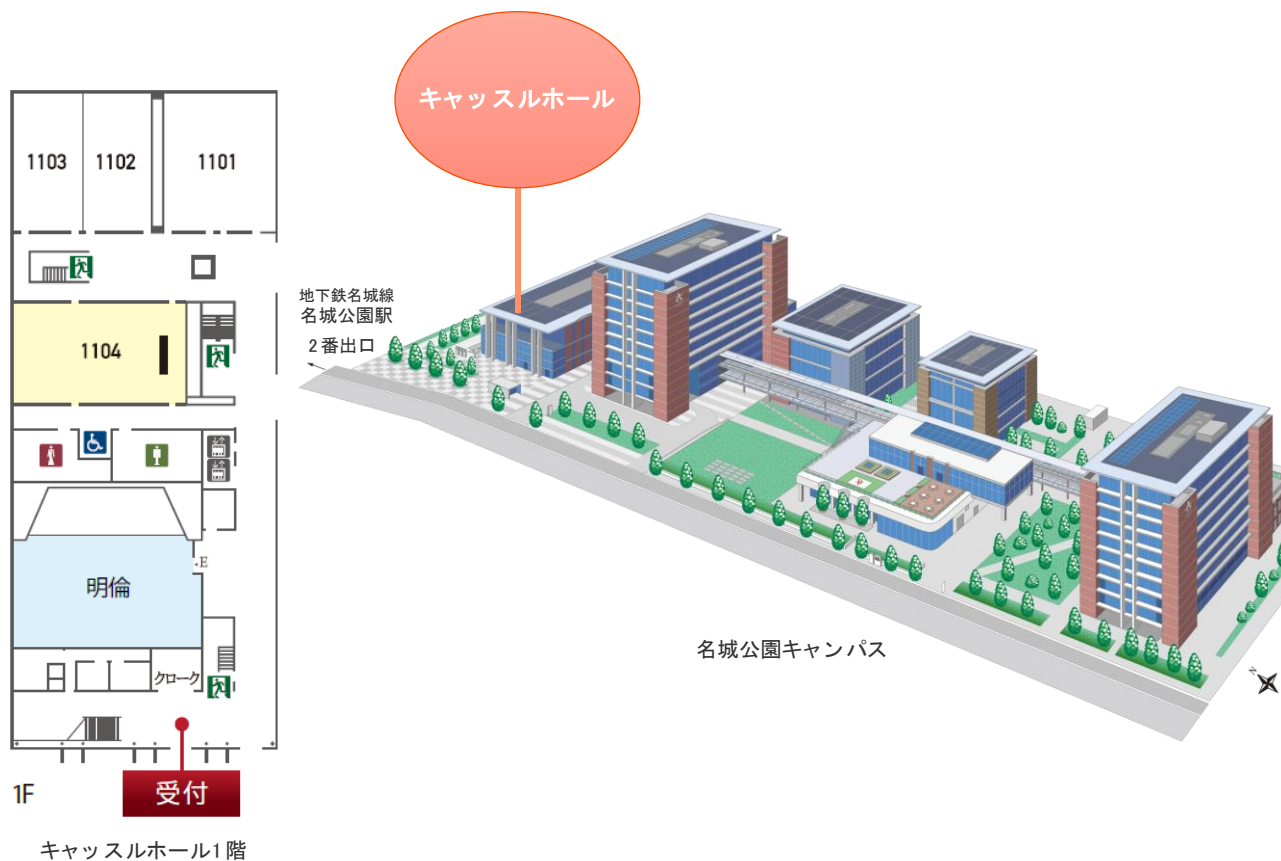
『宗教研究』編集委員会

—案内図—

9月9日（金）会場

愛知学院大学 名城公園キャンパス（愛知県名古屋市北区名城 3-1-1）

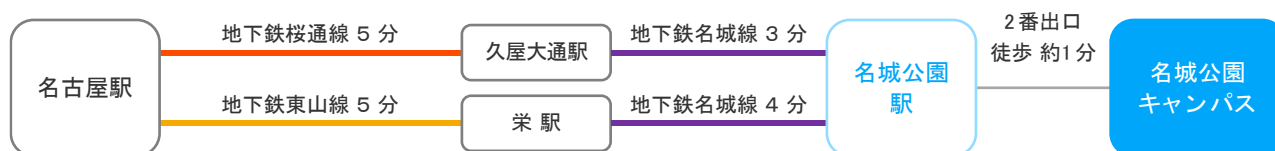
キャッスルホール1階 ホール「明倫」 会員控室（1104）



交通アクセス

名古屋駅から地下鉄桜通線に乗って5分で久屋大通駅。地下鉄名城線に乗り換えて3分で名城公園駅。2番出口より徒歩約1分で愛知学院大学名城公園キャンパス。

名古屋駅から地下鉄東山線に乗って5分で栄駅。地下鉄名城線に乗り換えて4分で名城公園駅。2番出口より徒歩約1分で愛知学院大学名城公園キャンパス。



日本宗教学会 第81回学術大会実行委員会

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 愛知学院大学文学部宗教文化学科内

E-mail: jars81th(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

HP: <https://jpars.org/conference/>